

# 国連マリ多面的統合安定化ミッション

## United Nations Multidimensional Integrated Stabilization Mission in Mali (MINUSMA)

### 《 概 要 》

2023年3月

- |            |                                    |
|------------|------------------------------------|
| 1 設立年月     | 2013年4月                            |
| 2 設立決議     | 安保理決議第2100号 (2013年)                |
| 3 展開場所     | マリ                                 |
| 4 本部所在地    | バマコ(首都)                            |
| 5 事務総長特別代表 | エルガツム・ワヌ(モーリタニア)                   |
| 軍事司令官      | ママドゥ・ガヤ少将(セネガル)                    |
| 警察部門長官     | ベティナ・パトリシア・ボウガニ(フランス)              |
| 6 活動期限     | 2023年6月30日<br>(安保理決議第2640号(2022年)) |
| 7 予算       | 約12億4,505万ドル(2022年7月～<br>2023年6月)  |



### 8 経緯

- (1) 2012年1月、マリ北部及び東部の独立を目指す反政府勢力のアザワド解放民族運動(MNLA)が、マリ北部において同国軍に対する攻撃を行った。4月、MNLAは北部全土を制圧したとして「アザワド共和国」の独立と一方的休戦を宣言。一方、反政府勢力に敗れる過程で、政府に対して不満を持つようになった国軍兵士らが、3月22日に騒乱を起こした。騒乱に伴う混乱に乗じて、マリ北部ではイスラム原理主義テログループらも勢力を伸張するなど人道・治安状況が悪化した。
- (2) 騒乱発生直後の3月27日、西アフリカ諸国経済共同体(ECOWAS)による調停を受け、マリ暫定政府が発足。暫定政府の要請に基づき、安保理決議第2085号により「アフリカ主導国際マリ支援ミッション(AFISMA)」の派遣が承認された。
- (3) 2013年1月、マリ北部でイスラム原理主義武装勢力とマリ国軍による戦闘が発生。仏軍とAFISMAの展開により治安状況は改善したが、テロ行為の継続等、依然として課題が残った。暫定大統領の要請もあり、4月25日、安保理は決議第2100号を採択し、国連マリ多面的統合安定化ミッション(MINUSMA)が設立、7月1日にAFISMAからの権限委譲が行われた。
- (4) 2017年2月、G5サヘル諸国(モーリタニア、マリ、ブルキナファソ、ニジェール、チャド)首脳会合で「G5サヘル合同部隊(FC-G5S)」の設立が決定。
- (5) 2017年7月に採択された安保理決議第2364号では、MINUSMAのマンデート期限を延長するとともに、事務総長に対しMINUSMA、FC-G5S及びG5サヘル諸国でテロ対策のためのバルカンヌ作戦を展開する仏軍の間の適切な調整と情報交換をそれぞれのマンデートの範囲内で確保することを要請した。
- (6) 2017年12月に安保理は、MINUSMAを通じたFC-G5Sの支援に関する決議第2391号を全会一致で採択。
- (7) 2020年8月マリ国軍の一部兵士による権力掌握によりケイタ大統領が辞任し、同年9月ンダオ暫定大統領が就任したが、2021年5月に再度武力による政変が発生し、ンダオ暫定大統領が辞任し、ゴイタ大佐が暫定大統領に就任。2024年3月末までの民政移管に向けて大統領選挙等実施の準備を進めているところ。

- (8) 2022年2月17日、仏等は、マリ暫定政府による複数の妨害を理由に、バルカンヌ作戦及び欧州諸国等多国籍部隊「タスクフォース・タクバ」のマリ領土からの撤収を決定し、同年8月15日、バルカンヌ作戦軍がマリから撤収を完了。
- (9) 2022年6月安保理は決議第2640号を採択し、MINUSMAのマンデートを2023年6月30日まで延長することを決定。

## 9 任務

MINUSMAの優先任務は以下のとおり:

- (1) マリ和平・和解「合意」の履行及び民政移行の完全的な実現支援
- (2) 中部における安定と国家権限の回復支援
- (3) 文民の保護
- (4) 人権の促進と保護
- (5) 人道支援

また、現存の能力を使って以下の任務遂行を支援する:

- (1) クイック・インパクトプロジェクト
- (2) 制裁委員会との協力(安保理決議2374号による制裁委員会との協力と情報共有、及び1267／1989／2253 ISIL(ダーイッシュ)及びアル・カーイダ制裁委員会との協力を含む。)
- (3) 武器・弾薬管理

## 10 派遣規模

- (1) 軍事・警察要員(計13,946名) ※2022年12月31日時点
  - ・警察要員(個人):282名      ・警察部隊要員:1,322名
  - ・軍事要員(個人):0名      ・軍事部隊要員:11,849名      ・司令部要員:493名
- (2) 文民要員(計3,384名) ※2021年時点
  - ・国際文民要員:805名      ・現地文民要員:2,579名
- (3) 国連ボランティア(計182名) ※2022年10月31日時点

## 11 要員派遣国 ※2022年12月31日時点

バングラデシュ、チャド、セネガル、エジプト、トーゴなど計55か国

(参照:国連DPO要員派遣国統計

<https://peacekeeping.un.org/en/troop-and-police-contributors>)

## 12 犠牲者数 ※2023年1月31日時点

298名(事故:35名、病気:78名、悪意ある行為:169名、その他:16名)

(参照:国連ウェブサイト <https://peacekeeping.un.org/en/fatalities>)

(参照:国連DPO MINUSMAウェブサイト <https://minusma.unmissions.org/en>)